

凸版印刷、来店者の行動に合わせ最適な広告をリアルタイムで配信
AIカメラを活用した自動販促プラットフォームを開発、
凸版印刷内の売店で実証実験を実施

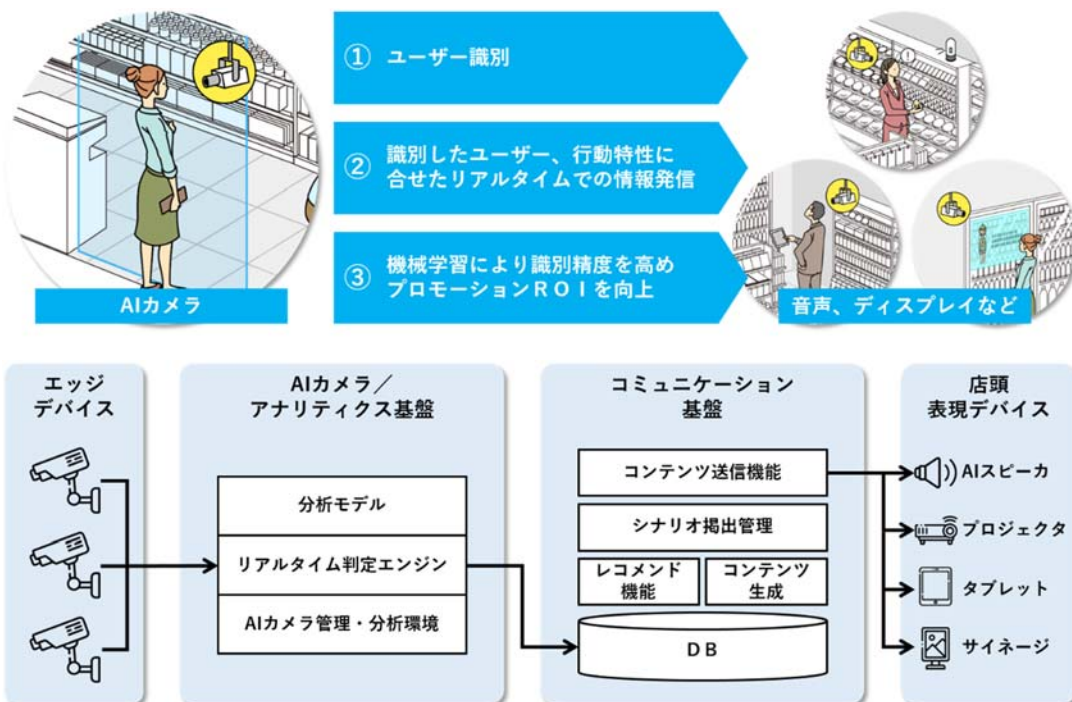
凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:磨 秀晴、以下 凸版印刷)は、AIカメラを活用したサービスで高い技術を保有するAWL株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:北出 宗治、以下 AWL)をパートナーとし、AIカメラ技術の活用と、凸版印刷のCRM技術およびデジタルサイネージなどの店頭表現デバイスを組み合わせ、店舗における来店客の行動や特性にあわせて広告を自動最適化するAIカメラを活用した自動販促プラットフォーム(以下、本プラットフォーム)を開発しました。

現在、凸版印刷内の売店にて、実証実験を実施しています。

本プラットフォームは、AIカメラ技術を活用し性別や年齢などの属性情報でユーザー識別を行い、来店者が店舗内においてどの売り場に立ち寄ったかなどの回遊状況から分かる行動特性に合わせて、最適な商品広告をデジタルデバイスへリアルタイムに配信することが可能です。購買検討中の来店者に向けて属性情報と行動特性に基づき最適なコンテンツを訴求することで、購買における態度変容に大きな影響を与えることができます。

今後はさらなる技術開発を進め、最適な商品訴求により来店者の態度変容を起こせたかどうかの検証も自動で行う機能を実装予定。これまで難しいとされてきた店頭販促におけるリアルタイムでの容易な効果検証を実現し、店舗スタッフのオペレーション負荷を減らしながら、来店者への販売促進を提供するためのサービスとして提供予定です。

凸版印刷は、本プラットフォームの開発により、リアル店舗においてのデジタルマーケティングを実施することで、省人化された店舗での販促支援を推進していきます。



■ 開発の背景

昨今、少子高齢化による人手不足や働き方改革が大きな社会課題となっています。小売業界においても、人材確保の問題が顕在化する中で売上拡大に向けた顧客単価の向上も促進しなければならず、オペレーション負荷の軽減は喫緊の課題となっています。

凸版印刷は、AIカメラを活用したサービスで高い技術を保有するAWLの協力のもと、これまで培ってきた店頭販促の知見とCRM技術を融合し、AIカメラを活用した自動販促プラットフォームを開発。小売業界を中心にデジタルサイネージなどを活用した販促活動のターゲティング精度を向上することで、売場改善における売上拡大への貢献や、省人化対応した店舗での販促・接客支援の実現を目指します。

■ 実証実験の概要

- ・目的:AIカメラを活用した自動販促プラットフォームを用いた来店者への効果・受容性評価の調査
- ・調査時期:2019年10月から実施中
- ・調査内容:店頭出口アンケート調査
- ・調査対象:凸版印刷従業員(20~50代男女)
- ・場所:凸版印刷内 売店

■ 今後の目標

凸版印刷は、AIを活用した自動販促プラットフォームを利用した店頭販促において、来店者への効果や受容性評価の調査を進め実用化を推進。本プラットフォームを活用した新規サービスの第一弾を2020年1月から提供開始予定です。

また、凸版印刷が提供するソリューションをはじめとした各種デジタルマーケティング基盤との連携を強化させることで、デジタル・リアル双方での販促支援の実現を目指します。

* AIカメラを活用した自動販促プラットフォームは、凸版印刷株式会社が関連特許出願中です。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上